

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部 法律経済学科
学年(出発時)	三年生
大学名	タスマニア大学
国	オーストラリア
留学期間	2023年2月～2023年12月
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)		
	平日	休日
8:00		
9:00	予習	予習
10:00	授業	予習
11:00	授業	
12:00	昼食	友人と外出
13:00		
14:00	授業	
15:00	授業	
16:00		帰宅
17:00		
18:00	友達と夕食	夕食
19:00	寮で映画観賞会	散歩
20:00		
21:00	復習	復習
22:00	就寝	就寝
23:00		
0:00		

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
English: Creative and Critical Reading	2.5h/w		英語	レポート
Queering Japan: Popular Culture, Identify, and Nation	3h/w		英語	レポート、発表
Introduction to Chinese 1A	4h/w		英語、中国語	小テスト、スピーキング試験
Introduction to International	3h/w		英語	レポート、試験
Gender & World	3h/w		英語	レポート
Introduction to Chinese 1B	4h/w		英語、中国語	小テスト、スピーキング試験

大学のサポート	
チューターの有無	無し
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	無し
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	
部屋タイプ	一人部屋
ルームメイト(国籍)	
室内設備	キッチン、ベッド、暖房
共用施設	
インターネット設備	有
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	バス(20分)
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	Student
Visa申請先	
Visa取得にかかった日数	数日
Visa取得にかかった費用	6万程度
Visa取得方法、提出書類等	オンライン
留学先大学の最寄り空港までの経路	NGO→BKK→MEL→HBA
渡航費用	片道15万
ピックアップサービスの有無	無し

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	一年
有る場合、その理由	卒論、就活のため
就職活動開始時期	帰国後
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ドル＝95円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約75,000円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	
宿舍費(月額)	13万(光熱費込み)
光熱費(月額)	
食費(月額)	2万
その他	1万
留学期間中にかかった費用の合計	250万

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

英語力(特にスピーキングとリスニング)が高いほうではなかったため、最初の授業ではかなりつまづくことが多かったです。同じクラスの子や先生に早めに相談して、授業の予習復習方法や、勉強の仕方などを教えてもらいながらなんとか必死についていきました。

授業外では、同じ寮に住んでいる友達と出かけたり一緒にご飯を食べたりすることが多かったです。日頃の悩み相談や、何気ない会話を通してスピーキング力も上がったように感じました。

授業の期間中は勉強で忙しく、中々遠出をすることは難しかったです。長期休みの期間に友達とタスマニアを回ったり、本土に出掛けたりしました。タスマニア内は、交通機関が整っていない場所も多いので、観光地に行く場合は車の運転のできる友達と一緒に行動することが多かったです。近場であればバスを駆使して一人でも自然豊かな街を回ることもできました。

タスマニア大学には、地元出身の学生だけでなく、インターナショナルの学生が数多く在籍しているため、色々な文化や言語、価値観に触れることができました。タスマニアで使われていた英語は、日本の高校までで習っていたアメリカ英語とは語彙やアクセントが違うことも多く、最初は戸惑うこともありましたが、実際に現地で生活することでより生の英語に触れられたことは、とても貴重な体験になったと思っています。

全体的に優しい人が非常に多いため、英語力や知識力にかかわらず、自分から積極的に話をし出かける行動力が、一番大切だと感じました。

ひとつ反省点を挙げるとすれば、渡航後の目標を具体的に定められていなかった点です。渡航前の準備段階で、一年という限られた留學生活の中で、何を優先的に成し遂げたいかを具体的に目標立てておくと、途中で過度に落ち込んだり、中だるみしたりせずに有意義な時間を過ごすことができたのかなと思います。今後留學を計画されている方は、漠然とした思いだけでなく、具体的に向こうで何をしたいかある程度考えておくと、より充実した生活が送れると思います。

今後留學する人へのアドバイス

渡航後のイメージがわからないまま英語試験に向けて勉強する日々は、留學準備の中でも一番辛い時期かと思いますが、勉強はした分だけ渡航後の自分を救ってくれます。適宜情報収集をしてモチベーションを高めながら、自分を信じて頑張してほしいと思います。

報告書記入日

2023年12月19日